



2020年12月2日



## 「日本ネーミング大賞 2020」において、 「救心」が優秀賞を受賞！

一般社団法人日本ネーミング協会が主催する「日本ネーミング大賞 2020」(<https://j-naming-award.jp/>)において、「救心」が「医薬品系部門」で優秀賞を受賞しました。

「日本ネーミング大賞」は、ネーミングの重要性を広く社会に発信することで、その質と価値の向上を図り、生活文化をゆたかにし、産業の発展に寄与することを目的に賞賛すべき優れたネーミングを選出・表彰するアワードです。

初開催の今回は、2019年10月1日(火)～2020年9月30日(水)までの間に、日本国内で販売または提供されている「商品名」「サービス名」「社名」等であり、商標登録され、また、一般世人の間に広く知られ、親しまれているものが対象。2,016件の中から全15部門の優秀賞、審査員特別賞などが決定されました。

### 受賞理由 (日本ネーミング協会会長 岩永嘉弘氏)

大正14年からある商品名。今回は時間を区切らない選出としたため、歴史ある商品もノミネート対象となった。発売当初から変わらず、いまだに流通し頑張っていることが凄い。ネーミングのレジェンド的な意味での受賞。



### 「救心」ネーミングの由来

創業者の堀正由は主力製品であった「ホリ六神丸」を改良し、新製品の開発に踏み切りました。「ホリ六神丸」の愛用者からの心臓によく効くという声をヒントに製剤の改良を重ね、薬効を明確に印象付ける名前を考えました。「六神丸」の「神」の字を入れた「神効丸」や、心臓に効くから「心効丸」などが候補に挙がりましたが、熟慮の末、心臓を救う薬「救心」が薬効につながる最もふさわしい名前とし、大正14年に「救心」と命名し、製造、販売が開始されました。